



さくらんぼだより

草笛学園 2025年最終号 



1年間、ありがとうございました！！

早いもので、1月も終わり2月がやってきましたね。朝晩はとっても冷え込みますが、日中の日差しは少し暖かくなってきたように感じます。気温の変化から体調管理が難しい頃かと思いますが、感染症やインフルエンザなどに負けず、予防をしていきましょう。また、さくらんぼ教室①②は2月で最後です。親子で活動に参加してきた中で、日々の子育ての悩みや思いと一緒に考えていけたのではないかと考えています。これからの生活や子育ての中で役立てていただければ幸いです。たくさんのご参加・ご協力ありがとうございました！

*どんな時でもあなたの味方

子どもの基本的安全感を育てるために、おとなはことばと表情と態度で「あなたはあなたであっていい。あなたはかけがえのない存在」ということを伝えることが重要だと言いました。

態度で伝えるということの一つは、「どんな時でもあなたの味方だよ。どんなことがあっても、私はあなたの親であることから逃げないよ」という姿勢を子どもに示していくことだと思っています。

たとえば、お友だちにちょっといじめられると、打ちのめされたような思いで帰ってくる子どもがいます。客観的にみると「そんなことぐらいで何よ」と思うような場合でも、子どもは、「ヤラレタ。モウ、アノ子トハ遊バナイ」と言うことがあります。そんな時、おとなは歯がゆく感じて、「何を言っているの。そんなこと言ったらだめよ。誰とでも仲良くするのよ」と説教したり、「やられたら、やり返しなさいよ」と焚きつけたりがちです。そう言われると、子どもは自分が否定されたような気持ちになってしまいます。受け止められた感じがしないのです。「オ母サンモ、ヤッパリ僕（私）ノ味方デハナイ」「ヤッパリ、僕（私）ノコト、ワカッテクレナイ」というふうに思ってしまうのです。子どもがつらいと思っているのであれば、それが客観的には大したことのように思えなくても、まず「つらかったんだね」と受けとめることが大切なのではないでしょうか。

〈略〉よく「これぐらい、やり返してこい」とけしかけることがあります。けれど、やり返すことのできる子どもは、言われる前にやり返しているでしょう。やり返すことができないからつらいのです。「やり返さないあなたは弱虫」とでも言うようにハッパをかけられると、子どもはもっとつらくなってしまいます。

あるお母さんは、いじめられたと泣いている子どもに、「お母さんに出てきて欲しいと思った時は、いつでもそう言ったらいいんだよ」と言ったそうです。本当は、こんな些細なことで行きたくないと思っていたそうですが、そう言うと子どもは「ウン」と言ってがんばって乗り越えていったそうです。

子どもにとって、「いつでもあなたの味方なんだよ」ときちんと表現することが大事だと思います。時には、子どもが悪いことをして、他人に謝らなければならないこともあるかもしれませ

ん。そんな時でも、子どもと一緒に泥をかぶる覚悟が、おとなには必要なのではないのでしょうか。

*学校への期待を育てる

〈略〉子どもは、小学校へ入学する際、大変な緊張感があります。保護者の方も、わが子を小学校へあげる時には、大きな期待と合わさった緊張感があると思いますが、子どもにはより大きな不安と期待と緊張感があるのです。学校は、建物も大きいし、そこにいるお兄さんやお姉さんたちの身体もみんな大きいという状態があります。保育所や幼稚園では年長の自分たちが一番大きかったのに、今度は一番小さくなってしまいますので、その不安と緊張感は大変なものだと想像することができます。

その不安や緊張感を煽るように、学校を脅しの材料に使い、子どもをきちんとさせたい時に「学校、学校」とチラつかせることは、子どもにとって良いこととは思えません。「お兄ちゃん（お姉ちゃん）になったね」ということを確認する時に、「もう学校に行けるのねえ」と学校を話題にし、子どもの成長をともに喜びあうのなら良いと思います。入学前に学校への不安や緊張感を高めないように配慮したいものです。

引用文献『小学校までにつけておきたい力と学童期への見通し』丸山 美和子著

○次回のさくらんぼ教室○

3月の開催は、教室①②ともありません。

『参加される皆様へ』 ~ご協力をお願いします~

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は無料です。(次回からおたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため) 制作や、クッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡いたします
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えてください)
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください
ていただくとともに、学園への連絡をお願いします

【感染症対策について】(※国の方針に準じて対策を見直しています)

- ・参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々の感染状況をみて着用をお願いする場合があります
- ・原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてきましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談ください
- ・入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
- ・園内の換気や消毒は引き続き継続します